

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

## ②施設・事業所情報

名称：社会福祉法人 明真会 西しゅくまーノ保育園	種別：児童分野 認可保育所
代表者氏名：八巻 利恵子	定員（利用人数）： 130名
所在地： 川崎市多摩区宿河原2丁目19番地6号	
TEL：044-933-1152	ホームページ： <a href="https://meishinkai.jp/nishishukumano/">https://meishinkai.jp/nishishukumano/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2013年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 明真会	
職員数	常勤職員： 21 名 非常勤職員 25 名
専門職員	（専門職の名称）
	施設長 1名 保育士 32名
	看護師 1名 調理員 3名
	事務員 1名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
	保育室 6室
	事務室、一時保育室、交流スペース、厨房、相談室、トイレ7か所、休憩室など

## ③理念・基本方針

《理念》これからの社会を担う子どもの健やかな育ちを求め、一人ひとりの子どもの心と伸びようとする力を大切に保育を目指します。

《保育目標》

1. 情緒豊かな子  
自然や人との触れ合いを通して情緒豊かで思いやりのある子の育成を目指します。
2. 自主性のある子  
自分でよく考え、自分で行動する意欲のある子の育成を目指します。
3. 社会性のある子  
保育園での集団生活を中心に、地域とのふれあいを通して社会性のある子の育成を目指します。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

平成25年4月に園舎を建て替え、川崎市立西宿河原保育園から民間委託を受けスタートしました。

- ・乳児クラスは保育士が一人ひとり（保育士が園児3名～を担当）を大切に流れる保育を行います。
- ・天気が良ければ、朝から園庭に出て乳児クラスは遊んでいます。
- ・食育活動（毎日の献立や食材を知る。野菜を育てクッキング。季節の野菜を知るなど）

を行っています。

・幼児（3・4・5歳児）クラスは、交流スペースをランチルームとして給食（昼・おやつ）を好きな場所で食べています。幼児クラスは、外部講師による「英語」「リトミック」を毎週、「体育」を月1～2回、「マーノ&アート（制作活動）」を年4回行っています。

・近隣の公園や遊歩道（バラロードなど）に散歩に出かけることもあります。

・1歳児以上から就学までの子どもを対象に、専用保育室で専任保育士が一時保育（1日10名まで）を平日に実施しています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年7月27日（契約日） ～ 2021年3月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2015 年度）

#### ⑥総評

##### ◇特に評価の高い点

##### ◆乳児の担当制による手厚い保育を実施しています

乳児クラスはゆるやかな担当制を取っており、登園時に子どもの様子を聞き、その日の状況に応じて個別の対応をしています。遊びや着替え、食事などを保育士と行動を共にし、愛着関係を築き、情緒の安定を図るように努め、子どもが安心して生活できるよう援助しています。一人ひとりの子どもの状況を把握して、個々に応じた自我の育ちを受け止め、見守るなど適切な関わりをしています。

##### ◆障害のある子どもが安心して生活のできる環境と保育を実施しています

障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラスの一員であることを配慮しています。計画に基づき、子どもの状況と成長に応じて人的・物的環境を整えた保育を行い、他の子どもが理解できるようわかりやすく説明し、共に成長できるよう努めています。職員は、良いところを見つけ、出来た事、頑張っている事を褒めています。保護者とは定期的に面談を行い、連携を密にしています。関係機関や川崎市西部地域療育センター、園医などから助言を受け、カリキュラム会議で情報を共有しています。

##### ◇改善を求められる点

##### ◆子どもの最善の利益に配慮した更なる保育の充実が期待されます

園は、子どもたちに目を配る担任同士の連携が不十分であり、子どもが安心して自分の気持ちを表現できていないと考えていて、これからの課題と捉えています。また、子どもの気持ちのサインの受け止め方や、子どもへの言葉使いなどを最重要課題として、改善に向けて取組を始めました。

今後は、園長や主任は、気になる言動があった場合にその場で助言したり、会議などで取り上げ、言葉かけが子どもの思いや状態に合っていたか、振り返る機会を作ることが期待されます。さらに、園全体で保育中の言葉かけや子どもと接する姿を見て、意見を出し合うなど保育の見直しの仕組みを検討し、改善する体制を作り、子どもの最善の利益に配慮した更なる保育の充実が期待されます。

##### ◆保護者が意見の出しやすい関係づくりと信頼関係の再構築が望まれます

園は、保護者から保育に関する意見が出された際は、直ちに園全体で問題を共有し、職員一人ひとりがより良い保育を心掛けることを確認し、保育に反映するよう努めています。

す。しかし、今回の利用者家族アンケートでは、職員に日頃の感謝の気持ちを伝える言葉が多数あるものの、信頼関係に不安を感じたり、不満・要望に対する対応に不満を感じている意見も散見されました。今後は、職員間で十分話し合い、保護者が意見の出しやすい関係づくりと信頼関係の再構築が望まれます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審するにあたり、職員全員で自己評価をし、一つずつの項目に沿って話し合いを行いました。話し合いを行う中で、日々の保育について客観的に振り返ること、保育に関する共通認識を深めることが出来ました。そして、「よりよい保育とは何か」を共に考え、課題を洗い出し、実際に保育へ生かすことができる良い機会となりました。

評価者の方々には、当園の保育を細部まで客観的に評価していただき感謝しております。普段から考え工夫して行っている保育に対して頂いた高い評価を頂いたことは、保育を行う上で大変励みになりました。今後も保育の質の向上を常に考える原動力となりました。

そして、保護者の思いや課題として頂いた点に関しましては、真摯に受け止め、緊急職員会議を開きました。改善に向け速やかに実行することで、今回の受審をより実りあるものにしたいと考えております。今後は、保育園機能と保育者の専門性の向上と、安全で安心して預けられる保育園作りに努めてまいります。

そして、最後になりましたが、お忙しい中アンケート等にご協力いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり